I·D·X

CAM～WAVE HD

CW-7

取扱説明書

日本語　第1版

IDX Company, Ltd.

このたびは CW-7 をお買い求めいただきましてありがとうございます。
本機のご使用に際しては、本書をよくお読みいただき、基本的な取り扱い方法や注意事項をご理解された上で安全にお使いください。

- 本書の著作権は株式会社アイ・ディー・エクスに帰属しております。本書の内容の全部または一部について、当社の許可無く転載、改ざん、公衆送信することは禁止されております。

- 本書の内容に関して、予告なしに変更することがあります。

目次

I.　安全上のご注意 3
II.　取り扱い操作 6
1.　製品概要 6
2.　各部の名称と働き 8
2.1.　CW-7 TX 8
2.2.　CW-7 RX 10
3.　LED 表示 12
3.1.　LED インジケーターの機能 12
3.2.　未接続中の表示 13
4.　周波数選択と送信出力選択 14
4.1.　設定周波数と送信出力 14
4.2.　DFS 機能 15
5.　通信モード（UNICAST/MULTICAST） 16
5.1.　UNICAST モード（1 対 1 通信） 16
5.2.　MULTICAST モード（1 対複数通信） 17
6.　操作方法 18
6.1.　準備するもの 18
6.2.　操作手順 18
6.3.　受信状態が不安定なとき 19
6.4.　無停電機能 19
6.5.　節電 19
7.　注意事項 20
III.　仕　様 21
8.　CW-7 TX 21
9.　CW-7 RX 23
IV.　保証・修理 25

I.　安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。間違った使い方をした場合、火災、感電あるいは怪我や製品故障などの重大な原因となることもありますので、本製品をお使いの前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。

警告
火災や感電により、怪我などの人身事故につながることがあります。

●外部電源を使用される場合には、電源電圧を確認のうえ定められた範囲を守ってご使用ください。また、端子の極性が異なると発煙、発火の恐れがあります。必ず接続される前にご確認ください。	●本製品を解体したり、加工、加熱、修復したりしないでください。火災や感電の恐れがあります。点検、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
●風呂場などの水分や湿気が多い場所に設置してのご使用はしないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。	●本体が破損したり、発煙、異臭などの予期しない事態が発生した場合は、速やかにご使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。
●液体や異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切ってください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。	●バッテリーを本製品に接続する場合や、本製品をビデオカメラ、モニタ等に接続させる場合は、正しく確実にロックされるように取り付けてください。

⚠ 注意
火災や発熱により、怪我をしたり周囲の物品に損害を与えることがあります。

●通気孔を塞いだ状態でのご使用は、発熱および故障の原因となります。	●長時間の連続使用時では、本体が発熱している場合がありますので、本機に触れるときにはご注意ください。
●湿気、油煙、ほこりの多い場所でのご使用は、発熱や感電の原因となる場合があります。	●本製品側面パネルの LED 表示を凝視しないでください。目を痛める場合があります。
●振動が発生するところや平らではないところへの設置はしないでください。故障や破損の原因となります。	

本製品のご使用に関する重要なお知らせ

⚠ 警告

CW-7 TX（送信機）を機器に装着する場合は、必ずビデオカメラのV-Mount へ装着してご使用ください。ビデオカメラ以外の機器へ装着してご使用された場合、装着状況によっては稀に故障の原因となる場合があります。

ビデオカメラ以外の機器に装着してご使用する場合は、弊社までお問い合わせください。

電波に関する注意

- 本製品には、日本国の電波法に基づく小電力通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合試験を行い工事設計認証を取得しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本製品は日本国内でのみご使用になれます。
- 本製品は日本国の電波法に基づき、屋内および屋外でご使用できます。
- 本製品で「DFS AUTO」モードを選択した場合、レーダー波の有無を検出するために1分間程度通信ができなくなります。
- 本製品は、5GHz 帯の無線周波数を使用しているため、医療機器に対して干渉を与えないことは確認していますが、安全を期するため医療機器から30cm以上離してご使用ください。

II. 取り扱い操作

1. 製品概要

本機(CW-7)は 5GHz 帯の無線周波数を使った HD 映像および音声を伝送する無線伝送装置です。TX（送信機）はビデオカメラなどの映像ソースと接続します。RX（受信機）をモニタ等と接続することにより、ケーブルを接続することなく離れた場所でビデオカメラの映像を視聴することが出来ます。本機は DFS 機能を搭載しており、屋内および屋外での使用が可能です。一般的な伝送可能距離の目安としては、TX と RX の間が見通せる場所で最大約 50m 程度です。

特徴

- 入出力は HD-SDI/SD-SDI に対応
- HD 映像(1080i, 1080p, 720p)および SD 映像(525i, 625i)を伝送可能
- 音声は SDI Embedded Audio に対応（Audio CH1,CH2 のみ伝送可能）
- 伝送遅延は 1msec 以下
- 128bit AES 暗号化による伝送信号の保護（UNICAST モード時のみ）
- AMIMON 社の WHDI 技術を採用し、高品質かつ無遅延の HD 映像伝送を実現。伝送画質は弊社従来機種より大幅に向上しました
- 伝送周波数は自動設定と手動選択の両方式に対応
- DFS 機能搭載により、屋外でも利用が可能
- 送信出力は２段階切替可能（HIGH/LOW）
- 電源は V マウントタイプリチウムイオンバッテリーとキャノンコネクタによる DC 入力に対応
- 外部 DC 電源にて動作中に停電等で電源供給が立たれた場合でも、装着したバッテリーからの電源供給に切り替わります
- 外部 DC 電源およびバッテリー電源のどちらからでもカメラ側へ電源供給が可能

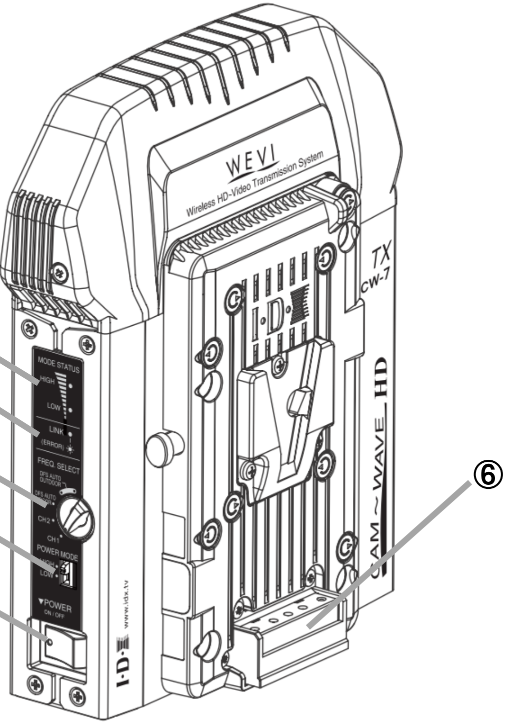
注意事項

＊ 伝送可能距離は選択された周波数、周囲の環境、電波状態、建物の状況により異なります。目安として見通し距離 50m としていますが、その距離を保証するものではありません。
＊ TV などに隣接して設置した場合、TV 画像が乱れる場合があります。このようなときは少し距離を離して設置してください。
＊ 自動車の往来が多い場所の近くや、5GHz 帯 LAN 機器がある環境下では、本機の通信が影響を受け、画像が乱れたり途切れやすくなる場合があります。
＊ 受信信号の状態は設置した位置、角度、高さなどによっても変わります。受信状態が不安定な場合は、最良となる状態を探して設置してください。

2. 各部の名称と働き

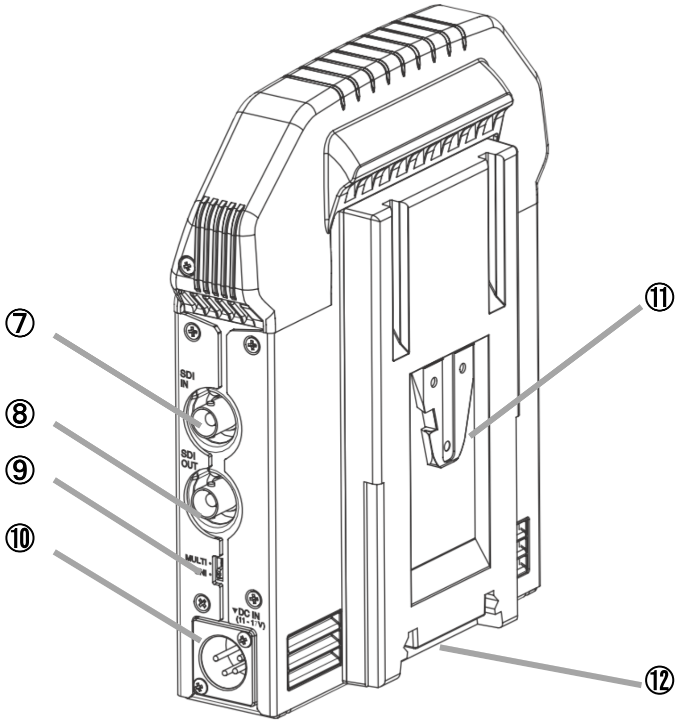
2.1. CW-7 TX

（送信機）



①
②
③
④
⑤

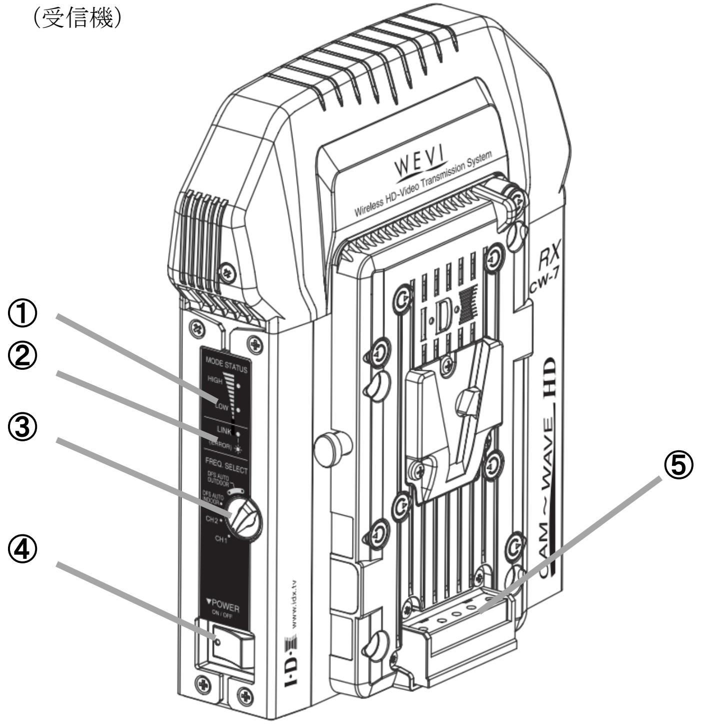
①MODE STATUS LED	送信出力と通信モードを表示します。
②LINK LED	通信状態を表示します。
③FREQ SELECT	送信周波数を選択します。 手動選択：CH1／CH2 自動選択：DFS AUTO INDOOR／DFS AUTO OUTDOOR DFS AUTO ポジションでは、DFS 機能により自動的に送信周波数を選びます。
④POWER MODE	送信出力 HIGH/LOW を選択します。
⑤POWER SW	本機の電源 ON/OFF を行います。
⑥V-Mount	V-Mount タイプのリチウムイオンバッテリーを装着します。



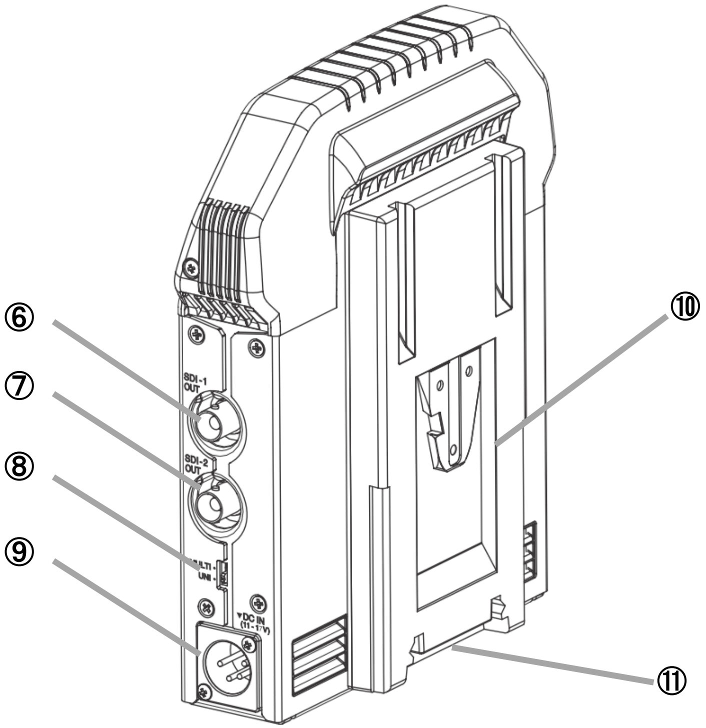
⑦SDI IN	ビデオカメラの SDI 出力端子と接続します。
⑧SDI OUT	入力された SDI 信号をループ出力します。 送信側でのモニタ用途に利用できます。
⑨UNI/MULTI SW	通信モードを選択します。 ✧UNI ：ユニキャストモード ✧MULTI：マルチキャストモード
⑩DC-IN	外部電源を利用する場合に接続します。 ✧コネクタ XLR-4 オス ✧入力範囲 DC 11～17V ✧ピンアサイン 1 番：マイナス 4 番：プラス
⑪V-Plate	本機をカメラの V-Mount に装着します。
⑫3/8 インチネジ穴(底面)	三脚固定用 3/8 インチネジ穴

2.2.　CW-7 RX

（受信機）



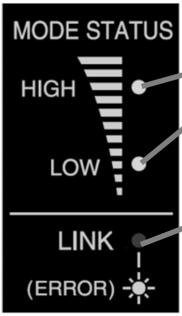
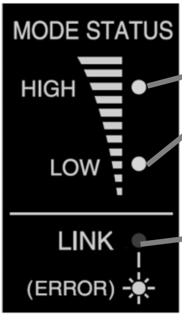
①MODE STATUS LED	受信信号の強さと通信モードを表示します。
②LINK LED	通信状態を表示します。
③FREQ SELECT	受信周波数を選択します。 手動選択：CH1／CH2 自動選択：DFS AUTO INDOOR／DFS AUTO OUTDOOR DFS AUTO ポジションでは、DFS 機能により自動的に受信周波数を選びます。
④POWER SW	本機の電源 ON/OFF を行います。
⑤V-Mount	V-Mount タイプのリチウムイオンバッテリーを装着します。



⑥SDI-1 OUT	モニタなどの映像入力端子と接続します。
⑦SDI-2 OUT	モニタなどの映像入力端子と接続します。 SDI-1/SDI-2 は同じ信号を出力します。
⑧UNI/MULTI SW	通信モードを選択します。 ✧UNI　:ユニキャストモード ✧MULTI:マルチキャストモード
⑨DC-IN	外部電源を利用する場合に接続します。 ✧コネクタ　　XLR-4 オス ✧入力範囲　　DC 11～17V ✧ピンアサイン　1番:マイナス　4番:プラス
⑩V-Plate	本機を周辺機器の V-Mount に装着します。
⑪3/8 インチネジ穴(底面)	三脚固定用 3/8 インチネジ穴

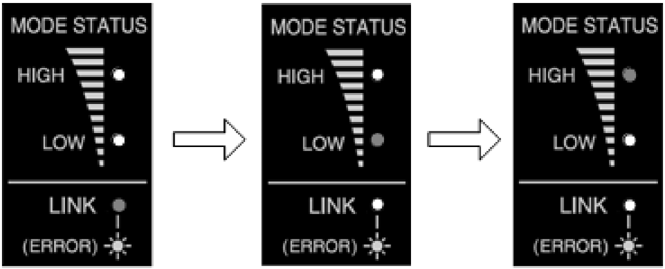
3. LED 表示

3.1. LED インジケーターの機能

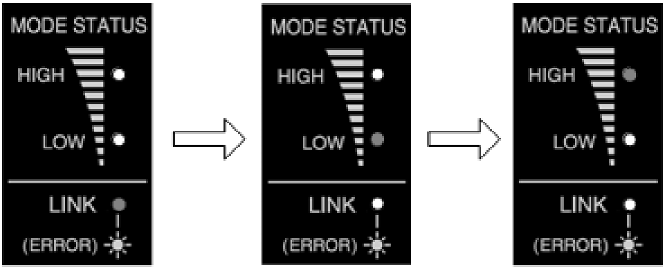
<table>
<tr><td rowspan="2">TX

</td><td>MODE STATUS LED
接続中は現在の送信出力（HIGH/LOW）と、
通信モード（UNICAST/MULTICAST）を示します。
✧ 送信出力 HIGH ：２灯点灯
✧ 送信出力 LOW ：１灯点灯
✧ UNICAST ：緑色で点灯
✧ MULTICAST ：橙色で点灯</td></tr>
<tr><td>LINK LED
現在の接続状態を表示します。
✧ 初期化・モード切替中 ：赤点灯
✧ 接続中（映像信号なし） ：橙点灯
✧ 接続中（映像信号あり） ：緑点灯
✧ 通信モード選択エラー ：橙点滅
✧ 接続エラー、装置異常 ：赤点滅</td></tr>
<tr><td rowspan="2">RX

</td><td>MODE STATUS LED
接続中は受信している信号の強さと、
通信モード（UNICAST/MULTICAST）を示します。
✧ 信号強い ：２灯点灯
✧ 信号弱い ：１灯点灯
✧ UNICAST ：緑色で点灯
✧ MULTICAST ：橙色で点灯</td></tr>
<tr><td>LINK LED
現在の接続状態を表示します。
✧ 初期化・モード切替中 ：赤点灯
✧ 接続中（映像信号なし） ：橙点灯
✧ 接続中（映像信号あり） ：緑点灯
✧ 通信モード選択エラー ：橙点滅
✧ エラー、装置異常 ：赤点滅</td></tr>
</table>

3.2.　未接続中の表示

本機の電源を ON にしたときや通信モードを切り替えたとき、送受信周波数を切り替えたとき、および伝送中に接続が失われたときは CW-7 TX と CW-7 RX がお互いの接続相手をサーチします。このとき、３つの LED が下から上へ順次点灯を繰り返し、サーチ中であることを表示します。



接続相手をサーチ中（TX）：緑点灯繰り返し



接続相手をサーチ中（RX）：緑点灯繰り返し

4. 周波数選択と送信出力選択

FREQ SELECT スイッチは TX と RX の両方に装備されています。POWER MODE スイッチは TX 側のみに装備されています。
FREQ SELECT スイッチは送受信周波数を設定します。FREQ SELECT スイッチは動作させる TX/RX の双方で同じポジションにしておく必要があります。
POWER MODE スイッチは送信出力を切り替えます。HIGH に設定すると大きな出力になり、LOW に設定すると小さな出力になります。

4.1. 設定周波数と送信出力

各チャンネルポジションと周波数および送信出力は以下の通りです。

<table>
<tr><th rowspan="2">チャンネル</th><th rowspan="2">使用周波数
(MHz)</th><th rowspan="2">制限事項</th><th colspan="2">送信出力</th></tr>
<tr><th>HIGH</th><th>LOW</th></tr>
<tr><td>CH1</td><td>5190MHz</td><td>屋内のみ</td><td rowspan="4">16mW/アンテナ</td><td rowspan="4">5mW/アンテナ</td></tr>
<tr><td>CH2</td><td>5230MHz</td><td>屋内のみ</td></tr>
<tr><td>DFS AUTO
INDOOR</td><td>屋内でのみ使用可能です。
以下の周波数から DFS 機能により自動選択します。
5270, 5310, 5510, 5550, 5590, 5630, 5670 MHz</td><td>屋内のみ
通信待機時間 1 分</td></tr>
<tr><td>DFS AUTO
OUTDOOR</td><td>屋外・屋内両方で使用可能です。
２つのポジションのどちらを選択しても同じです。
以下の周波数から DFS 機能により自動選択します。
5510, 5550, 5590, 5630, 5670 MHz</td><td>屋外可
通信待機時間 1 分</td></tr>
</table>

周波数により屋内使用限定の制限があります。屋内のみの周波数を屋外で利用した場合、法令違反となりますのでご注意ください。

4.2. DFS 機能

FREQ SELECT スイッチを DFS AUTO INDOOR または DFS AUTO OUTDOOR に設定した場合、本機の DFS 機能が有効になります。
DFS とは、Dynamic Frequency Selection（動的周波数選択）の略称です。同じ 5GHz 帯を使用する気象レーダーなどの電波を検出し、混信しないように自動的に周波数を切替える機能です。DFS 機能は 5250MHz～5350MHz および 5470～5725MHz の周波数を使用する無線機器に対して、法令により搭載が義務付けられています。

本機の DFS 機能は "DFS AUTO INDOOR" と "DFS AUTO OUTDOOR" の２つのポジションがあります。

- DFS AUTO INDOOR
  屋内でのみ使用可能なポジションです。P.14 の表の通り全 7 チャンネルの周波数から自動選択します。
- DFS AUTO OUTDOOR
  屋外・屋内両方で使用可能なポジションです。 P.14 の表の通り全 5 チャンネルの周波数から自動選択します。

注意事項・制限事項

＊ DFS AUTO を選択した場合、通信待機時間として 1 分間の待ち時間が発生し、未接続状態になります。これは DFS の規格により定められた待機時間です。

＊ 通信待機時間は電源投入時に DFS AUTO のいずれかが選択されていた場合、および他の FREQ SELECT ポジションから DFS AUTO ポジションに変更した場合にも発生します。

＊ 通信待機時間中の LED 表示は、未接続中表示になります。
→P.13「未接続中の表示」

＊ 映像伝送中に FREQ SELECT のチャンネルポジションを変更すると接続断となり、再度接続相手のサーチを行います。（映像は切れます）

＊ 映像伝送中に DFS 機能による周波数の自動変更が発生しても、接続は維持されます。（映像は切れません）

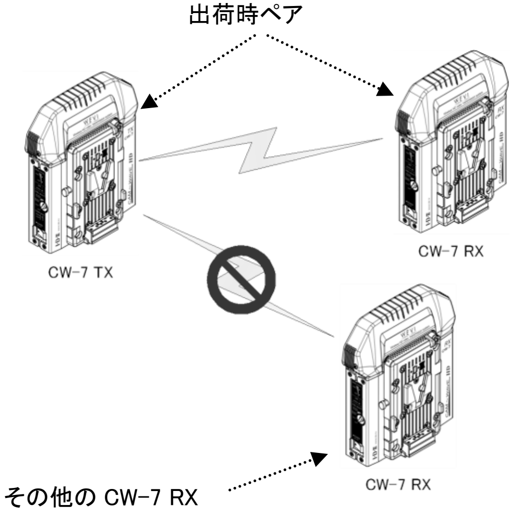
＊ MULTICAST モードでは DFS 機能はご使用頂けません。
DFS AUTO ポジションで MULTICAST モードを選択すると「通信モード選択エラー」が表示されます。
→P.12「LED インジケーターの機能」

5. 通信モード（UNICAST／MULTICAST）

UNI/MULTI スイッチは通信モードを選択します。UNI/MULTI スイッチは動作させる TX/RX の双方で同じポジションにしておく必要があります。

5.1. UNICAST モード（1 対 1 通信）

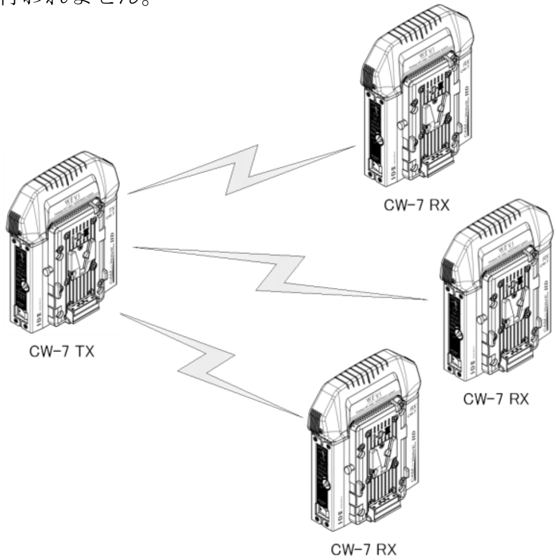
UNI/MULTI スイッチを UNI ポジションにセットすると、本機は UNICAST モードで動作します。UNICAST モードでは出荷時の TX/RX ペアの間でのみ通信が可能です。伝送する映像信号は 128bit AES 方式で暗号化されるので、他の CW-7 で傍受されることはありません。



UNI ポジションの動作

5.2. MULTICAST モード（1 対複数通信）

UNI/MULTI スイッチを MULTI ポジションにセットすると、本機は MULTICAST モードで動作します。MUTICAST モードでは、1 台の TX から複数台の RX に映像を伝送することができます。このとき、伝送信号の 128bit AES 暗号化は行われません。



MULTI ポジションの動作

MULTICAST モードでは､受信できる CW-7 RX の台数に制限はありません。電波の到達する範囲であれば受信可能です。

注意事項・制限事項

＊ MULTICAST モードでは本機の DFS 機能は使用できません。
DFS AUTO ポジションで MULTICAST モードを選択すると「通信モード選択エラー」が表示されます。→P.12「LED インジケーターの機能」
FREQ SELECT は CH1 または CH2 でご使用ください。

＊ MULTICAST モードは屋外でのご使用は出来ません。
（使用可能周波数が CH1 または CH2 に限られるため）

6. 操作方法

6.1. 準備するもの

本機セットには次のものは含まれておりません。ご使用前にあらかじめご用意ください。

- SDI 用 BNC ケーブル
- ENDURA シリーズバッテリーもしくは外部電源

  注）外部電源について

  AC アダプターや ENDURA シリーズバッテリー以外のバッテリーで、DC 出力が 11V～17V までのものに限られます。本機の DC-IN コネクタは XLR-4 オスです。ピンアサインは 1 番 : マイナス、4 番 : プラスです。電圧範囲を超える入力や逆接続は故障の原因となりますので絶対にお止めください。

6.2. 操作手順

①TX と RX を、それぞれビデオカメラやモニタ等のバッテリー装着部に接続してください。もし、ご使用のビデオカメラやモニタ等のバッテリー装着部が V-Mount 以外の場合には、変換アダプター等を利用して V-Mount スタイルに変更してください。

②ビデオカメラの SDI 出力端子と、TX の SDI 入力端子をそれぞれ BNC ケーブルで接続してください。また、モニタ等の SDI 入力端子と、RX の SDI 出力端子をそれぞれ BNC ケーブルで接続してください。
なお、TX には SDI 出力端子が装備されています。ビデオカメラ近傍でモニタ用途にご使用可能です。また、RX の SDI 出力端子は 2 系統ありますので、2 台のモニタ等に接続することも可能です。

③充電済みの ENDURA シリーズバッテリーを TX と RX に接続してください。外部電源を利用する場合には、DC-IN コネクタへ接続してください。
*本機からはビデオカメラやモニタ等の V-Mount にも同時に電源供給されます。

④TX の FREQ SELECT スイッチ、POWER MODE スイッチ、UNI/MULTI スイッチを適切に設定してください。RX の FREQ SELECT スイッチ、UNI/MULTI スイッチを適切に設定してください。

⑤電源スイッチを ON にしてください。
未接続および接続中の LED 表示については P.12「LED インジケーターの機能」を参照してください。

6.3. 受信状態が不安定なとき

信号の受信状態は、本機の設置の位置、角度、高さなどによっても変わります。受信状態が不安定な場合は、本機の位置や設置場所の高さなどを調整して、最良となる状態を探してください。
また、TX/RX 間の距離が近すぎる場合は、受信電波が強すぎて映像が乱れる場合があります。ごく近傍（目安としては 3m以内）に設置する場合は、TX の POWER MODE スイッチを LOW にしてご使用ください。

6.4. 無停電機能

外部電源を使用する場合、同時に ENDURA シリーズバッテリーを本機に装着しておくことで、外部電源からの電源供給が停電等により途絶えたとしても、瞬時に ENDURA シリーズバッテリーからの電源供給に切り替わり、本機の動作が停止することがありません。なお、この場合多少画像の乱れが生ずる場合があります。
本機からカメラやモニタ等に対しても同様に無停電機能が働きます。

6.5. 節電

本機の電源スイッチを OFF にしても接続されているビデオカメラやモニタ等への電源供給は停止しません。ビデオカメラやモニタ等は動作させたまま一時的に本機の電源を OFF にしても良い時などは、バッテリーの消費を節約することができます。

7. 注意事項

（1） CW-7 は各地域の電波利用に関する法律・規制のために、出荷地域毎に使用周波数と送信出力が異なります。日本で出荷された CW-7 を国外でご使用することはできません。

（2） 本機で使用している 5GHz 帯の無線周波数は、周波数により屋外での利用が限定されています。本機を CH1,CH2 および DFS AUTO INDOOR ポジションでご利用する場合は屋内でのみご使用ください。
DFS AUTO OUTDOOR ポジションでは屋外での利用が可能です。

（3） 最大到達距離は選択された周波数、周囲の環境、電波状態、建物の状況などにより変化します。目安として屋内見通し 50m（POWER MODE=HIGH のとき）としていますが、その距離を保障するものではありません。

（4） CW-7 TX/RX 間の距離が近すぎる場合は、受信電波が強すぎて映像が乱れる場合があります。ごく近傍（目安としては 3m以内）でご使用する場合は、CW-7 TX の POWER MODE スイッチを LOW にしてご使用ください。

（5） 本機には外付けアンテナは取り付けできません。

（6） 本機の SDI 出力は SMPTE-292M/SMPTE-259M-C に準拠していますが、通信状態により SDI 信号のクロックジッターが規格を超える場合があります。

（7） 本機は SDI エンベデッドオーディオに対応していますが、オーディオチャンネル 1 と 2 のみ伝送します。

（8） 無線通信による信号伝送を行うため、有線接続時と比べて映像の品質は低下します。あしからずご了承ください。

（9） CW-7 TX（送信機）は必ずビデオカメラの V-Mount へ装着してご使用ください。ビデオカメラ以外の機器へ装着してご使用された場合、装着状況によっては稀に故障の原因となる場合があります。ビデオカメラ以外の機器に装着してご使用する場合は、弊社までお問い合わせください。

III.仕　様

8. CW-7 TX

<table>
<tr><th colspan="2">映像・音声</th></tr>
<tr><td>映像入力信号</td><td>SD-SDI(SMPTE 259M-C 準拠)
HD-SDI(SMPTE 292M 準拠)</td></tr>
<tr><td>音声入力信号</td><td>SDI Embedded
(Embedded Audio CH1,CH2 のみ伝送)</td></tr>
<tr><td>モニタリング</td><td>SD-SDI/HD-SDI 出力（入力信号のループアウト）</td></tr>
<tr><td>対応映像
フォーマット</td><td>HD: 4:2:2 YCbCr 10bit
1080/59.94i,1080/50i,
1080/29.97p,1080/25p,1080/24p,1080/23.98p,
1080/30PsF,1080/29.97PsF,1080/25PsF,1080/24PsF,1080/23.98PsF,
720/59.94p,720/50p
SD: 4:2:2 YCbCr 10bit
525/59.94i, 625/50i</td></tr>
<tr><th colspan="2">無線</th></tr>
<tr><td>周波数</td><td>5GHz 帯
<table>
<tr><th>区分</th><th>中心周波数(MHz)</th><th>制限</th><th>DFS</th><th>スイッチ設定</th></tr>
<tr><td>W52</td><td>5190,5230</td><td>屋内</td><td>OFF</td><td>CH 1,2</td></tr>
<tr><td>W53</td><td>5270,5310</td><td>屋内</td><td>ON</td><td>DFS AUTO Indoor</td></tr>
<tr><td>W56</td><td>5510,5550,5590,5630,5670</td><td>屋外可</td><td>ON</td><td>DFS AUTO Indoor/
DFS AUTO Outdoor</td></tr>
</table>
占有帯域幅：40MHz</td></tr>
<tr><td>送信出力</td><td>JP:
POWER MODE HIGH: 12dBm/アンテナ
POWER MODE LOW : 7dBm/アンテナ</td></tr>
<tr><td>伝送距離の目安</td><td>50m（屋外 LOS）</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>MIMO / OFDM / JSCC</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td>内蔵パターンアンテナ
DOWNLINK x4 / UPLINK x1</td></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>AES 128bit 暗号化（UNICAST モードのみ）</td></tr>
<tr><td>伝送モード</td><td>UNICAST / MULTICAST</td></tr>
</table>

表示・操作	
電源スイッチ	本体電源の ON/OFF
周波数選択 スイッチ	伝送周波数/DFS モード選択　５ポジション
POWER MODE スイッチ	送信出力　HIGH / LOW の切替
UNI/MULTI スイッチ	UNICAST / MULTICAST 動作切替
ステータス LED	MODE STATUS LED　赤・緑 2 色 LED　×2 LINK LED　赤・緑 2 色 LED　×1
電源	
電源入力	バッテリー入力：11-17V / DC 入力：11-17V DC 入力優先、DC 無しの場合バッテリー動作に切り替える
電源出力	DC 入力またはバッテリーからのスルー出力 ※本体電源 OFF 時にも常時出力する
対応バッテリー	IDX 製 ENDURA シリーズリチウムイオンバッテリー
入出力端子	
映像入力端子	BNC ×1 系統　(SD-SDI/HD-SDI)
映像出力端子	BNC ×1 系統　(SD-SDI/HD-SDI・入力信号のループアウト)
バッテリー入力	V-Mount ×1 系統　(P-V2 相当)
電源出力	V-Plate ×1 系統　(A-NH2E 相当＋デジタル端子)
DC 入力端子	キャノン XLR-4 ×1 系統　(メス：1 番マイナス／4 番プラス)
定格	
寸法	幅 159mm　奥行 72mm　高さ 190mm
質量	約 850g
消費電力	最大 12W
動作温度	0～40℃(結露なきこと)
認証／規格	MIC: 技術適合証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の 3 技術適合証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の 3 の 2 ARIB STD-T71 に準ずる RoHS 対応

9. CW-7 RX

<table>
<tr><td colspan="2">映像・音声</td></tr>
<tr><td>映像出力信号</td><td>SD-SDI(SMPTE 259M-C 準拠)
HD-SDI(SMPTE 292M 準拠)
※BNC 2 系統（ミラー出力）</td></tr>
<tr><td>音声入力信号</td><td>SDI Embedded
（Embedded Audio CH1,CH2 のみ伝送）</td></tr>
<tr><td>対応映像
フォーマット</td><td>HD: 4:2:2 YCbCr 10bit
1080/59.94i,1080/50i,
1080/29.97p,1080/25p,1080/24p,1080/23.98p,
1080/30PsF,1080/29.97PsF,1080/25PsF,1080/24PsF,1080/23.98PsF,
720/59.94p,720/50p
SD: 4:2:2 YCbCr 10bit
525/59.94i, 625/50i</td></tr>
<tr><td colspan="2">無線</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td>JP:
<table>
<tr><td>区分</td><td>中心周波数(MHz)</td><td>制限</td><td>DFS</td><td>スイッチ設定</td></tr>
<tr><td>W52</td><td>5190,5230</td><td>屋内</td><td>OFF</td><td>CH 1,2</td></tr>
<tr><td>W53</td><td>5270,5310</td><td>屋内</td><td>ON</td><td>DFS AUTO Indoor</td></tr>
<tr><td>W56</td><td>5510,5550,5590,5630,5670</td><td>屋外可</td><td>ON</td><td>DFS AUTO Indoor /
DFS AUTO Outdoor</td></tr>
</table>
占有帯域幅：40MHz</td></tr>
<tr><td>送信出力</td><td>JP:
14dBm
※UNICAST モード時のアップリンク出力</td></tr>
<tr><td>伝送距離の目安</td><td>50m（屋外 LOS）</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>MIMO / OFDM / JSCC</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td>内蔵パターンアンテナ
DOWNLINK x5 / UPLINK x1</td></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>AES 128bit 暗号化
（UNICAST モードのみ）</td></tr>
<tr><td>伝送モード</td><td>UNICAST / MULTICAST</td></tr>
</table>

表示・操作	
電源スイッチ	本体電源の ON/OFF
周波数選択 スイッチ	伝送周波数/DFS モード選択　５ポジション
UNI/MULTI スイッチ	UNICAST / MULTICAST 動作切替
ステータス LED	MODE STATUS LED　赤・緑 2 色 LED　×2 LINK LED　赤・緑 2 色 LED　×1
電源	
電源入力	バッテリー入力 : 11-17V / DC 入力 : 11-17V DC 入力優先、DC 無しの場合バッテリー動作に切り替える
電源出力	DC 入力またはバッテリーからのスルー出力 ※本体電源 OFF 時にも常時出力する
対応バッテリー	IDX 製 ENDURA シリーズリチウムイオンバッテリー
入出力端子	
映像出力端子	BNC×　2 系統　(SD-SDI/HD-SDI・同一信号のミラー出力)
バッテリー入力	V-Mount　×1 系統　(P-V2 相当)
電源出力	V-Plate　×1 系統　(A-NH2E 相当＋デジタル端子)
DC 入力端子	キャノン XLR-4　×1 系統　(オス : 1 番マイナス／4 番プラス)
定格	
寸法	幅 159mm　奥行 72mm　高さ 190mm
質量	約 800g
消費電力	最大 12W
動作温度	0～40℃（結露なきこと）
認証／規格	MIC:　技術適合証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の 3 技術適合証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の 3 の 2 ARIB STD-T71 に準ずる RoHS 対応

IV.保証・修理

- 当製品の保証期間はお買い上げ後 2 年間です。
- 保証期間内であっても、不適切な使用、電源の過不足やショートによる故障、落下・振動による故障、仕様範囲外での使用や水濡れなどによる故障は、保証修理の対象とはなりません。
- 当製品には保証書は添付しておりません。
  製品シリアル番号で弊社にて管理しております。
- 修理・点検はお買い上げ店もしくは弊社営業部までご連絡ください。

CW-7 日本語版取扱説明書
XXWK120216
2012 年 7 月 15 日　第 1 版

株式会社 アイ・ディー・エクス

本社：　　　〒214-0021
神奈川県川崎市多摩区宿河原 6-28-11
Tel　044-850-8801
Fax　044-850-8838
HP　http://www.idx.tv/
Email idx.japan@idx.tv

http://www.idx.tv/

FOR SALES AND SERVICE CONTACT

In Japan / Asia

IDX Company, Ltd.
6-28-11 Shukugawara,
Tama-Ku,
Kawasaki-Shi, Kanagawa-Ken
214-0021,
JAPAN
TEL: 81-44-850-8801
FAX: 81-44-850-8838
E-mail: idx.japan@idx.tv

In the United States

IDX System Technology, Inc.
19001 Harborgate Way,
Suite 105 Torrance
CA 90501
USA
TEL: 1-310-328-2850
FAX: 1-310-328-8202
E-mail: idx.usa@idx.tv

In Europe / Middle East.

IDX Technology Europe Ltd.
Unit 9, Langley Park,
Waterside Drive, Langley,
Berkshire SL3 6EZ
ENGLAND
TEL: 44-1753-547692
FAX: 44-1753-546660
E-mail: idx.europe@idx.tv